

神奈川ウォーキング参加 H23-14

鎌倉古道中道編 悲運のみちのり第2弾

日時：平成24年2月12日（日）集合東戸塚10:00

コース：東戸塚駅→横浜新道→戸塚カントリー→こども自然公園（昼食）→保土ヶ谷バイパス→鶴ヶ峰古
 戦場巡り→鶴ヶ峰駅解散 27,000歩 18km（伊藤自宅含め31,000歩 20km）

参加者：平石-L・平石幸・大竹・山内・勅使河原・大平・吉野・小作・田村夫妻・青松夫妻・平嶋
 ・熊島・渡辺り・伊藤真<初参加一般・本山・原> 合計18人

「鎌倉古道中道編・悲運のみちのり」ネーミングに誘われて見ると、今回第2弾。第1弾は平成23年11月13日（日）、手帳を調べてみると、翌日ゴルフで早朝から車運転で不参加にしたようです。第1弾「悲しみの道」は鎌倉から北上して、鎌倉女子大学から舞岡公園を経て、東戸塚までの32,000歩、22kmのウォーキングで有ったようです（第48号機関誌白石レポート）。歴史好きな私は、鎌倉は別のグループで、四季折々の「花と寺」「切り通し」巡りで良く訪れておりますが、「鎌倉古道」テーマウォーキングは初めてです。コース途中に名門「戸塚cc」を通るとあっては、前日の飲み疲れもありましたが、申し込みしました。参加する前に少し調べて行きましたが、平石さんは歴史の調査も詳しく、古道地図を基に前日まで6回も下調べに来られての今日の案内と聴いて、頭が下がりました。「歴史を調べながら、古道を探し求めて、見つけた時は何とも言えぬ喜びです。」この一言に小生も写真撮りに熱が入りました。その御努力に小春日和のお日様の恵み有り、気持ち良いウォークでした。途中の「こども自然公園」梅はチラリ咲きでしたが、美味しく昼食を戴き、鶴ヶ峰駅には、ピッタリ16時到着でした。案内の8kmより大幅オーバーで、平石幸夫人から温かい御注意もありましたが、御夫妻企画シリーズこの後も頑張って戴きたく、重ねて厚く御礼申し上げます。



↑東戸塚駅改札出口で平石L御迎え

東戸塚駅は鎌倉に行く時の乗り換え駅でした。（最近武蔵小杉に横須賀線の駅が併設されてここで乗換）従って東戸塚駅下車は初めてでした。9:40到着予定が9時半前に到着、熊島さん1人でしたが、平石さんが資料コピーされて来られました。



駅西口広場で平石Lの説明と初参加の本山・原さん紹介↑



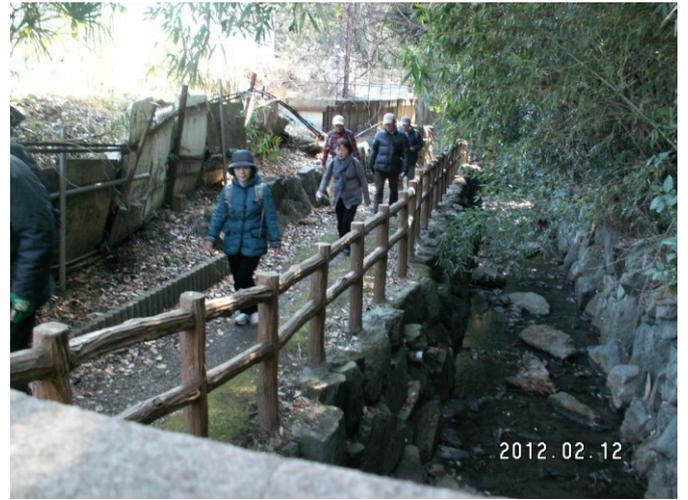
←古道は鉄塔尾根（写真左）から横浜新道（写真右）を渡り、「新戸塚病院」に向い、この近くに有る「名瀬第8公園」で田村さんによるストレッチをし、再び「新戸塚病院」前を通り「戸塚cc」に向います。「何故ここまで来てストレッチするの？」実は「新戸塚病院」裏の「戸塚cc」の中が「鎌倉古道」なのです。P1



↑名瀬第8公園での田村さんによるストレッチ



「川上川」沿いの遊歩道を歩く



東戸塚霊園を通り抜け入り口の「倫勝寺」↑で休憩

コースは一部しか見えませんでした。(1961年開場、東西コース・36ホール、昨年秋東コースでキャノンオープン開催、久保田優勝。小生未体験ccです)「横浜cc」は道路を隔てて反対側です。

名門「戸塚cc」↑の「東コース」傍を歩きましたが、



←戸塚ccの練習場端に「地藏堂」があり、そこに「鎌倉古道」に係わる「道標」が有りました。平石さん曰く「大発見！」

こども自然公園：横浜市立で「野毛山動物園」の分室でも有り「万騎が原ちびっこ動物園」やバーベキュー広場もある。1205年北条時政の軍勢がこの池で炊き出しをした様です。1972年開園。481千㎡の広さ。



↑「桜山」の桜が満開の頃は素晴らしいと思います



「梅林」も見事ですが、殆ど蕾で咲いているのは2～3本でした その梅林で恒例の隊列集合写真です 勅使河原さんも地元緑園都市駅近くで、ここは散歩に良く来られる所の様です。

「梅林」テーブル付きベンチで昼食12:00~12:40



大池を背景に集合写真

鎌倉幕府は何時から? : 平安時代の末期、平清盛 (NHK大河ドラマ放映中) を中心とする平氏政権が成立。この後、伊豆に流罪となっていた源頼朝が1180年挙兵し、①1185年「壇の浦の戦い」で平家滅亡の時、②1192年「源頼朝が征夷大將軍」着任の時、③1221年「承久の乱」の時、諸説が有ります。この後北条義時・北条政子が死去、北条泰時が執権になり、「評定衆」「御成敗式目」を制定して、集団指導体制を作る。途中海外、モンゴルや元の攻めも有りますが、1333年足利尊氏・新田義貞の「元弘の乱」で滅亡するまで鎌倉幕府は続きます。以降足利尊氏の室町時代に入ります。南北朝時代・戦国時代権力闘争は続き、1573年織田信長の時代へと移ります。内外共に権力闘争は続きます。鎌倉は栄枯盛衰戦いの歴史が一杯です。(資料より)

大池の歴史

この池は、古くから「本宿の大池」といわれ二俣川村本宿の溜池で、元久二年（一〇五年）六月、畠山重忠公と合戦した北条時政の軍勢が、この池の水で炊き出しをしたと伝えられている。

また、土地の古老の話によると、江戸時代中頃（一七〇〇年代）にこの付近の地頭の渡辺氏の命により、百姓六兵衛親三二代にたり村内五三郎の灌漑池（農業用水）としてつくられたとも伝えられている。

池畔には、弁財天の石祠が祭られており、寛政二年（一七九〇年）二月に建立と刻まれているが、天明二年（一七八三年）の大飢饉で大勢の人が亡くなったことを供養して建てられたと伝えられている。

また一方では、昔ある男が鶴を撃とうとして誤って池の主の大蛇を殺してしまい祟を恐れて弁財天を建てたとも伝えられている。

昔からの行事としてこの池では、毎年五月五日に村人が弁天様に「御神酒上げ」をして豊作を祈った。また、早魃（日でり）になると村人の代表数人が大山の阿夫利（雨降）神社に参拝し、「御神水」を戴いてこの池に注ぎ弁天様に雨が降るように「雨乞い」をした。

このような行事は昭和三年（一九五八年）ころまで行われていた。

そのころまでは、池の周辺や前の道路に桜が植えられ花見などで大変賑わい、こども達は釣りや夏の水泳にと格好の遊びの場となっていた。

現在の池は面積六四六〇平方メートルあり、昭和四十七年（一九七二年）には林とともに保存するために「こども自然公園」として生まれかわりました。

鎌倉道と大山道の分れ道

昭和五三年（一九七八年）までこの場所は三叉路でした。この道を、東に行けば今井街道を経て旧東海道の保土ヶ谷宿に通じており南に行けば今の戸塚カントリークラブの道を通り抜けて、鎌倉まで通じる道（鎌倉中の道で、昭和三七午（一九六二年）に戸塚カントリークラブが出来ましたが、道路沿いに郡（子）塚があり今でも昔の面影を残しています。また、西に向かえば大池、長島寺、現在の東希望ヶ丘小生校を経て、大山の阿不利（雨降）神社に通ずる大山進入の分岐点でした。



「こども自然公園」から「古道」を登る



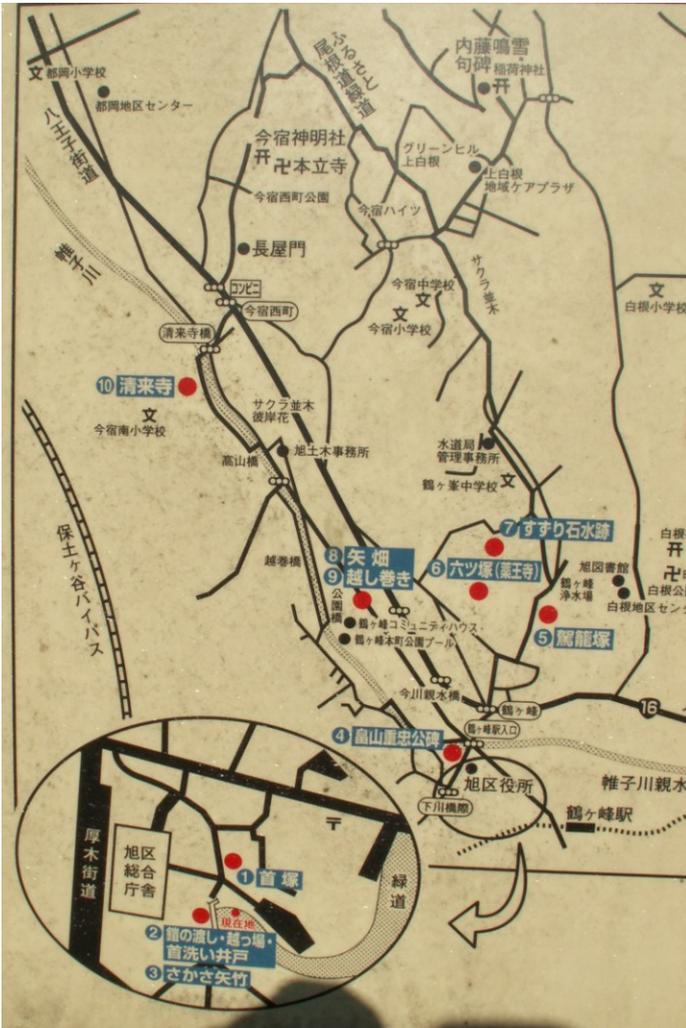
保土ヶ谷バイパス「南本宿橋」を渡る



↑ミカンか？ユズか？気になる木？
←市街地に入ると「古道」もややこしくなる北側方向に行く。



↑「古道」はバイパスから途中、マンション（写真下の南側）にぶち当たる。迂回して、本宿中学校（写真上）



【畠山重忠公について】
 畠山重忠公は鎌倉時代の武将で、源頼朝の忠臣として幕府の創設にも尽くし、智・仁・勇を兼ね備えた武将として名声を上げていました。しかし幕府の実権を巡る争いにまきこまれ、旭区の二俣川付近で戦死しました。区内の二俣川から鶴ヶ峰にかけては、重忠公ゆかりの史跡が多く残っています。これらの史跡は、旭区民が重忠公に親しみをもち、大切に守ってきたものです。

① **首塚**
 重忠公の首が愛甲三郎によって斬られ、祭られた所といわれています。今は西向きですが以前は南を向いていたそうです。

② **鎧の渡し・越っ場・首洗い井戸**
 鎌倉街道が帷子川を渡る場所でした。以前は川幅も広く、武士がここを渡るときに頭に鎧をのせて渡ったと伝えられています。ここにはまた重忠公の首を洗い清めたといわれる井戸がありました。以前は河原に直径1m程の穴があり、水が湧いていたといいますが、川の流れが変わって失われてしまいました。

③ **さかさ矢竹**
 重忠公が矢に当たって討ち死にする前に、矢を2本地面に突き刺したものが根づき、毎年2本ずつ増えて茂り続けたといわれています。最近では見ることが出来なくなりましたが、平成17年6月22日、重忠公没後800年にあたり、さかさ矢竹の再びの繁茂を期待して、畠山重忠公碑の横に植竹されました。

④ **畠山重忠公碑**
 昭和30年6月22日、重忠公没後750年を記念し、地元・鶴ヶ峰と埼玉県川本村の有志により建立されました。

⑤ **駕籠塚**
 重忠公の内室「菊の前」は合戦の報に接し、急ぎ駆けつけました。しかし、この地で重忠公の戦死を聞いて自害して果て、その場所に駕籠ごと埋葬されたといわれています。以前は浄水場の中に隠りを竹で囲まれた大きな塚があったそうです。昭和30年に場外に移され、その後昭和49年に現在の姿に整備されました。

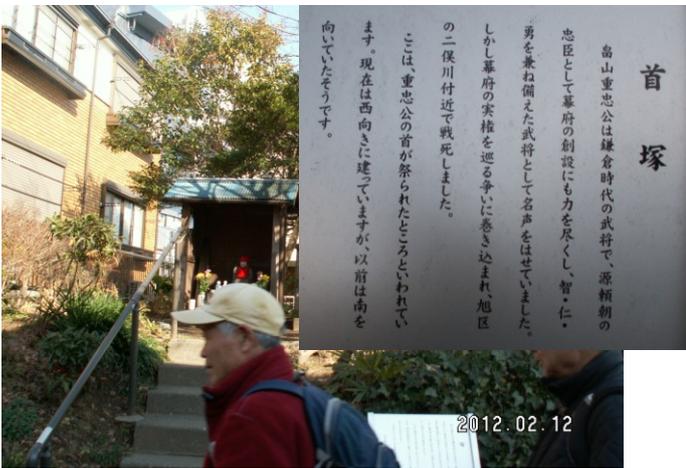
⑥ **六ツ塚(義王寺)**
 重忠公をはじめ、一族郎党134騎を埋めたといわれている6つの塚があります。堂である義王寺には重忠公の霊が祭られており、毎年命日の6月22日には旭区観光協会の協力のもと、盛大な慰霊祭が催されます。

⑦ **すすり石水跡**
 重忠公が陣をはった時、この水で墨をすったと伝えられています。谷戸の奥にある場所です。昭和初期まで崖からの湧き水があったそうです。

⑧ **矢畑**
 ⑨ **越し巻き**
 二俣川の合戦のおり、北条勢から射た矢があたり一面に落下し、矢の畑のようになったといわれます。また、このあたりで取り囲まれたということで越し巻きといいますが、一般には矢が腰巻のようにぐるりと取り巻いたためこの名ありとも伝えられます。実際の正確な場所は不明です。

⑩ **清来寺**
 江戸時代末期に、重忠公の武勇をたたえるために編纂された「夏野の露」という絵巻が伝えられています。境内には、鎌倉時代に、伝令として使っていた鐘があったという鐘楼塚があります。この塚には、重忠公の所持していた観音像が埋められているので観音塚と呼ぶとも伝えられています。

旭区区役所周辺が「鶴ヶ峰古戦場の跡」で「ここで1時間半学習します」区役所前公園でトイレ休憩



↑①首塚

←②鎧の渡し
 首洗い井戸

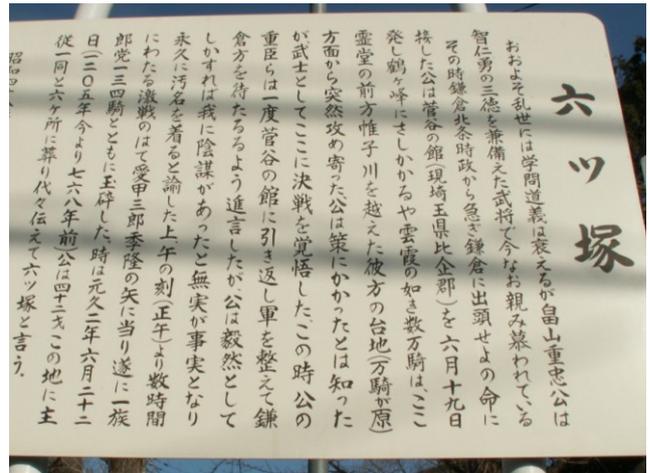
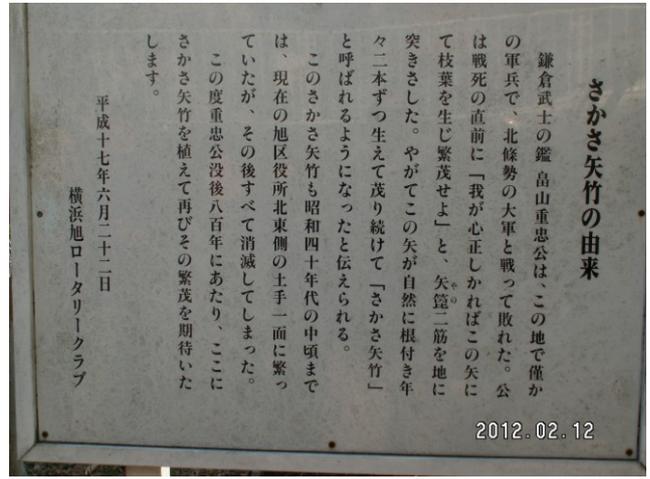
首洗い井戸
 畠山重忠公は鎌倉時代の智・仁・勇を兼ね備えた武将でした。しかし、幕府の実権を巡る争いに巻き込まれ、鎌倉に至急参上せよという北条時政からの命に接して鶴ヶ峰にさしかかるところ、北条勢の大軍に待ちぶせされました。熱戦を繰り広げましたが、弓の名手愛甲三郎季隆(すえたか)の放った矢に当たり、四十二才の生涯をこの地に閉じました。元久二年(千二〇五年)六月二十二日のことです。

ここには重忠公の首を洗い清めたといわれる井戸がありました。以前は帷子川の河原に直径1メートル程の穴があり、水が湧いていたといいますが、川の流れが変わって失われてしまいました。

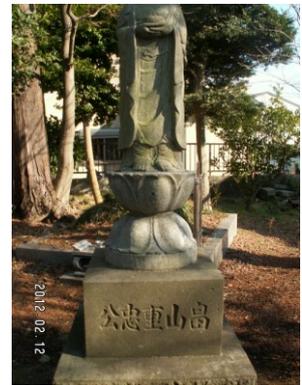




③さかさ矢竹④畠山忠臣公碑



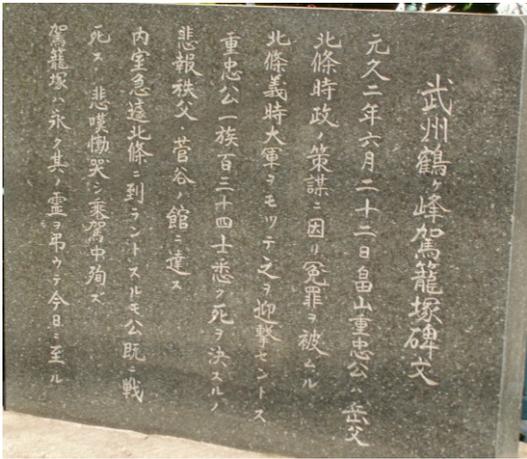
⑥六ツ塚 (薬王寺)



← 畠山重忠公他の塚と薬王寺



← 「薬王寺」境内に六ツ塚有り
 ここから鶴ヶ峰上水道の傍に有る「⑤駕龍塚碑」と「鶴ヶ峰神社」に向う。更に大サービスウオーク「帷子川^{かたびらかわ}」西上流に有り、遠く離れた「⑦清来寺」に行く。



庭園が綺麗な清来寺本堂前で休憩し集合写真(ここで喫煙タイムの人も居られました)



↑帷子川遊歩道を鶴ヶ峰駅に向う、何故か青松美さん先頭でピッチを上げます？↑幸区区役所前の公園で田村さんのクールダウン。平石L歩数公表「案内は一般8kmでしたが、この公園で史跡を頭に入れて戴いて、近辺を約1時間半学習し、最後に清来寺をサービスしましたので、27,000歩 18kmになりました」初参加の本山さん、原さん良く頑張られました。吉野会長からも優しいアドバイスが有り、是非入会して下さい。

編集後記

鎌倉古道：上道・中道・下道の主要道があったとされているが、唯一「中道」について「吾妻鏡」に鎌倉から武蔵東部を経て下行、そして白河へ抜ける道を「中路」と記してある。諸説が有る中で、鎌倉から巨福路坂或いは亀ヶ谷坂を越えて、戸塚方面に向い、鶴ヶ峰・長津田を経て、本町田付近で「上ノ道に合流したのではなきかとの説。平石Lから説明有りましたように、鎌倉古道の特徴は①なるべく平坦な直線距離を取る。②見晴らしの良い尾根・丘陵・台地・微高地を取る。③掘割状の凹型の断面になる幅は、騎馬が2列に並んで通れる位で決して広くない。(一部資料から抜粋)

畠山忠臣：鎌倉幕府創設者源頼朝の死後、内部権力闘争が続き、1200年梶原景時の変、1203年比企能員の変によって権力者は滅ぼされ、実権は14歳の將軍源実朝を擁する北条時政が握っておりました。畠山忠臣はこの2つの変でも北条時政に協力していたのですが、謀略に引っ掛かり1205年この地で滅ぼされてしまう。武家社会の勢力争いはこの後続いて行くのです。タイミング良くNHK大河ドラマも「平清盛」放映しております。平石さん「歴史の勉強、現地を見て学ぶ」有り難うございました。

アフターウォーク in 「養老の滝」

御疲れ様でした「アー美味しい！」感謝！感謝！

